

取扱説明書

回転式視力検査器(4段階式検査器)

SK-3N(3m用)
SK-5N(5m用)

4段階視力検査方式は、各クラスに於いて席を定める等に簡易にして速やかに測定することができます。
(実用新案登録出願中/意匠登録出願)

※使用方法

1. 回転式視力検査器は金属製黒板、又は其の他の金属板に本体裏面のマグネットを以て吸着させます。
2. 適当な金属板が無いときは、上部2箇所穴を利用しご使用して下さい。
3. 検者は、被検者を3m(又は5m)離れた所より読み取らせます。
4. 検者は標示板の耳を指で回転させて、被検者に読み取らせます。

※判定

1. 4方向中3方向、又は3方向中2方向が判読できれば、その視標が読めたと判定します。
2. 判定は、「A」「B」「C」「D」で表示します。

| 表示 | 判定基準 | 学習上、必要な対策 |
|--------------|--------------------------------|--|
| A 1.0以上 | 1.0の視標が読めた。 | ほぼ学習に支障がない (但し厳密には遠視又は乱視の眼鏡を必要とする場合がある) |
| B 0.7~0.9 | 1.0の視標は読めなかったが、 0.7の視標は読めた。 | 学習に支障が生じる場合があるので医師の診察を受けること |
| C 0.3~0.6 | 0.7の視標は読めなかったが、 0.3の視標は読めた。 | 学習に支障があるので医師の診察を受けること |
| D 0.3以下 | 0.3の視標が読めなかった。 | |

※其の他

1. 0.7の視力があれば教室の一番後ろの座席から黒板の字が読み取ることができ、0.3の視力では一番前の座席から黒板の字を読み取ることができます。
2. 進学や就職の際、提出書類に視力の記入が必要であれば0.1刻みで測定し記載します。